

《主催》 中 部 教 育 学 会

《共催》 名古屋大学大学院教育発達科学研究科

中部教育学会第 69 回大会

プ ロ グ ラ ム

2021(令和 3)年 6 月 20 日(日)

オンライン開催
(メイン会場：名古屋大学)

【 時 間 表 】

9:30~	オ ン ラ イ ン 受 付	Zoom Meeting	メインルーム
9:45~	開 会 行 事		
10:00~12:20	自由研究発表（分科会）		ブレイクアウトルーム
12:30~13:00	総 会		メインルーム
13:00~14:00	休 憩		
14:00~16:00	公 開 シ ン ポ ジ ウ ム	Zoom Webinar	

中部教育学会第 69 回大会(2021 年度)

実行委員長 伊藤 彰浩

大会顧問 松下 晴彦

吉川 卓治

事務局長 柴田 好章

chubu2021@educa.nagoya-u.ac.jp

自由研究発表

第1分科会 10:00-12:05 第1講義室

司会： 内田 純一（愛知県立大学）・藤井 基貴（静岡大学）

- 1-1 10:00 思考はどのようにしてはじまるか
－ジョン・デューイにおける非認知的経験と認知的経験の連続性に着目して－
宮本 伸吾（名古屋大学 大学院生）
- 1-2 10:25 ホワイトヘッド生成哲学の教育学的意義
小島 聖矢（名古屋大学 大学院生）
- 1-3 10:50 明治期の「手技」と「手芸」の考察
水野 道子（小田原短期大学）
- 1-4 11:15 若江薫子の女性教育論
鬼頭 孝佳（名古屋大学 大学院生）
- 1-5 11:40 清末内モンゴル近代女子教育に関する資料の検討
－鳥居きみ子のハラチン滞在記を中心に－
呉 蘭蘭（名古屋大学 大学院生）

第2分科会 10:00-11:55 第2講義室

司会： 中嶋 哲彦（愛知工業大学）・田川 隆博（中部大学）

- 2-1 10:00 高校生と後期中等教育を受ける権利の保障
國枝 幸徳（NHK学園高等学校 非常勤講師）
- 2-2 10:25 2020年高大接続改革 混乱の始点の検討
－教育再生実行会議の議論・提言を分析して－
安藤 颯（(株)中日新聞社）
- 2-3 10:50 教員のICT活用に関する教育的価値の変容
－教育の情報化をめぐる手引書の分析から－
○藤川 寛之（名古屋大学 大学院生）
- 2-4 11:15 プログラミング教育を通じた幼小連携教育の構築
○今井 昌彦（浜松学院大学短期大学部）
○牧野 純也（浜松学院大学短期大学部）
○堀 和恵（愛知教育大学 非常勤講師）

第3分科会 10:00-12:10 E演習室

司会： 的場 正美（東海学園大学）・サルカール アラニ（名古屋大学）

- 3-1 10:00 テキスト理解を活性化する解釈共同体の働き
水野 正朗（東海学園大学）
- 3-2 10:25 単元内自由進度学習の実践者の課題と学習材のアーカイブ化
伏木 久始（信州大学）
- 3-3 10:50 授業研究における理論と実践の乖離とその克服過程の再検討
－砂沢喜代次の「教授－学習過程の構造分析」と「教育認識論」を手がかりに－
○石原 正敬（名古屋大学 研究員）
○柴田 好章（名古屋大学）

3-4 11:30 問題解決学習における多様な視点を有する子どもの思考の構造的把握

－語彙の出現頻度と中間項を用いた子どもの発言の解明－

○岩崎 公弥子 (金城学院大学)

○ファウザン アーダン ヌサンタラ (名古屋大学 大学院生)

○坂本 将暢 (名古屋大学) 柴田 好章 (名古屋大学)

石原 正敬 (名古屋大学 研究員)

第4分科会 10:00-12:05 G 演習室

司会：植田 健男 (花園大学)・山口 正 (日本福祉大学)

4-1 10:00 性別違和のある子どもに対する大人の理解についての研究

天野 諭 (立命館大学 大学院生)

4-2 10:25 オルタナティブ教育の学び舎としての機能

－アメリカのフリースクールの事例研究－

中島 葉子 (岐阜聖徳学園大学)

4-3 10:50 看護学校における「教育学」の講義の取り組みに関する考察

田中 卓也 (静岡産業大学)

4-4 11:15 教師に対する満足度の規定要因に関する研究

－「学校教育に対する保護者の意識調査」から－

○松田 香南 (名古屋大学 大学院生)・菊地原 守 (名古屋大学 大学院生)・

杉本 はるか (名古屋大学 大学院生)・藤川 寛之 (名古屋大学 大学院生)

4-5 11:40 部活動は安全か

－教育課程内外におけるコロナ感染症と熱中症のリスク分析－

○内田 良 (名古屋大学)・藤川 寛之 (名古屋大学 大学院生)・

菊地原 守 (名古屋大学 大学院生)

公開シンポジウム 14:00～16:00

「コロナという災禍と祝祭の陰で」

司 会：辻 浩 (名古屋大学)

趣旨説明：柴田 好章 (名古屋大学)

報 告：石井 拓児 (名古屋大学)

内田 良 (名古屋大学)

生澤 繁樹 (名古屋大学)

指定討論：山本 理絵 (愛知県立大学)

2020年初頭より我々を突如襲った COVID-19 によって、3月から3ヶ月間の学校の一斉休校など、我々はこれまでにない体験を重ねてきた。学校や教育関係者の努力によって、「学びを止めない」ために、様々な取り組みが行われている。対面での授業開始後も、三密をさけるために、ペア・グループの学習に制限が加わりながらも、対話的な学びを保障する努力も続けられている。学校行事は中止になったり代替行事になったり、各学校の事情に合わせた決断や工夫が見られる。学校が果たす役割とは何かについて考え、対面のできる教育の良さとは何かを、改めて再確認する機会となった。一方で、GIGA スクール構想も前倒しとなり、ICT の活用が一気に広がってきた。ポストコロナにむけた新しい試みとして、デジタル・トランスフォーメーション (DX) に注目が集まっている。こうした新たな試みは、未来の教育の姿を予感させるものではあるといえよう。しかし、新たな試みに強い光が当たることによって、渦中にある今の足元の苦しみや辛さをありのままに見つめ語り合うことを遠ざけてしまっていないだろうか。本シンポジウムは、コロナという「災禍」や、コロナ禍への対応によって生じている「祝祭」の陰で起きている現実

大会参加要領（抜粋）

参加申込方法 大会WEBサイト <http://chubu-kyoiku-gakkai.org/chubu2021/> より、6月4日までに参加申込をしてください。学会ホームページよりリンクがあります。期日までに申込のあった方には発表要綱集を郵送します。それ以降も参加申込を受付します（当日9:30まで）。発表申込者は、参加申込は不要です。



参加方法 発表者の方は、名古屋大学の会場から発表していただくことを原則としていますが、オンラインで遠隔からの発表も可能です。発表されない参加者は、オンラインで参加してください。自由研究発表・総会は、Zoom Meetingを使用します。シンポジウムは、Zoom Webinarを使用します。接続URLが異なりますのでご注意ください。接続に関する情報は、専用サイトでお知らせします。パスワードは、メールで通知します。

* 名古屋大会会場での発表については、今後のコロナ感染状況によって、変更することがあります。

（発表者） 名古屋大会会場で発表される場合は、会場備付けのPCで発表していただきます。遠隔で発表される場合は、ご自身でPCおよびネットワーク環境の準備をお願いします。

（発表者以外） 発表要綱集および、発表ごとの配布資料（ある場合）は、参加者専用WEBページよりダウンロードできます。

受付 オンライン(Zoom Meeting) 9:30~ 名古屋大学（各分科会会場） 9:30~

参加費 無料（WEBでの参加申込が必要です。）

自由研究発表 個人発表：発表19分＋質疑応答5分、共同発表：発表29分＋質疑応答10分、交代1分
全発表終了後の全体討議は実施しません。

* 共同研究であっても口頭発表者がお一人の場合は「個人発表」となります。

上記は、大会参加要領の抜粋です。大会WEBサイトおよび発表者または参加者用の専用WEBページも併せてお読みください。

* Zoom接続情報や、発表要綱集、配布資料等は、専用WEBページに掲載します。専用WEBページのパスワードはメールで通知します。

